

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1212 動物と人間の関係史			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	215
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜3限				
教室	J301教室				
代表教員	堂前 雅史				
担当教員	堂前 雅史				
テーマと到達目標	イヌ、ヤギ、ヒツジ、ウシ、ブタ、ウマ、ニワトリ、ネコなどは、いずれも野生動物が家畜化されたものである。皆さんは、それぞれどのような野生動物が原種であったかはご存じだろうか。本講義ではこうした家畜史をヒトという動物と他の動物の共進化の過程として捉え直し、動物行動学や遺伝子科学の研究成果を基に動物と人間の関係の歴史を考える。ここから新しい人間観、新しい生命観を模索してほしい。				
概要	たとえばイヌの起源はオオカミが家畜化されたものであることは広く知られている。しかし同じく足の早い肉食獣でありながら、チーターは家畜化されなかった。なぜだろう。「イヌは人になつく性質があるから」という説明は、少し考えれば、人間中心的で無意味なものであることが分かる。イヌが誕生する以前、オオカミがヒトに出会う前から、ヒトになつきやすい性質を準備していることなどありえないからである。そこには人間の側の事情だけではなく、動物の生態学的条件があることが無視してしまう人間中心主義がある。本講義では動物行動学や遺伝子科学の研究成果を基に動物と人間の関係の歴史を考える。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	家畜化とは				対面授業
第2回	ヒトの起源とドメスティケーション				対面授業
第3回	ヤギとヒツジ① 考古学的証拠と遺伝子からの証拠				対面授業
第4回	ヤギとヒツジ② 羊毛は家畜化よりずっと後世				対面授業
第5回	イヌの起源① 考古学的証拠と遺伝子からの証拠				対面授業
第6回	イヌの起源② 行動と人為選択				対面授業
第7回	ウシの起源 牛と言われる動物たち				対面授業
第8回	ブタの起源 群れを作らない動物の家畜化				対面授業
第9回	ネコとネズミの歴史				対面授業
第10回	ウマの起源 ウマの原種と家畜化事情				対面授業
第11回	ニワトリの起源 鳥のドメスティケーション				対面授業
第12回	キンギョの起源 魚のドメスティケーション				対面授業
第13回	動物の権利と動物福祉				対面授業
第14回	動物園の歴史				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	期末試験(100点満点)で成績評価する。加点レポート(20点分以内)を提示することがある。				
履修にあたっての留意事項	内容は共通教養「生物の多様性A」の内容を踏まえているので「生物の多様性A」で履修済みであることが望ましいが、「生物の多様性A」を履修していなくても、高校の生物学授業等で学んで「自然選択（自然淘汰）」や「ニッチ」の概念を理解している者であれば十分について来られる。 授業内容は学生の理解や関心の状況に鑑みて一部変更される場合がある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	補講期間に動物園ワークショップを行う場合がある。その場合は、交通費と入場料金がかかる。		
教科書	随時資料を配布する	教科書(ISBN)	
参考文献	フランシス『家畜化という進化—人間はいかに動物を変えたか』白揚社(2019) 三浦慎悟『動物と人間』東京大学出版会(2018年) ブラッドショー『犬はあなたをこう見ている』河出文庫(2016年) ブラッドショー『猫的感觉』早川ノンフィクション文庫(2017年) デニス&ベイトソン『ドメスティック・キャット』チクサン出版社(2006年) ミクロシ『イヌの動物行動学』2014年	参考文献(ISBN)	978-4826902120 978-4130602327 978-4309464268 978-4150504991 978-4885008290 978-4486019121